

大切に紡いできた伝統行事と共に生きる、 花のある美しい農村づくり

—景観形成—

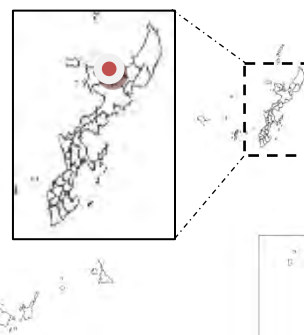
すむい でちいきしげんほぜん かい 済井出地域資源保全の会

済井出地区は、沖縄本島北部に位置する名護市に属する屋我地島（やがじしま）にある。

平成 19 年に、地域の農家が主体となって済井出地域資源保全の会を設立し、農道の除草などの清掃活動や、「畦払い（あぜばらい）」と呼ばれる伝統行事の継承などを行っている。現在は、県道沿いの花の植栽活動なども加わり、地域住民が一丸となって自然と調和した美しい景観形成や農村環境保全、活力あるコミュニティの形成に資する活動を行っている。



地域資源を守り育てる
屋我地島の済井出地区



沖縄県名護市



地域住民がハウスに集まり
花の苗を生産

〔景観の保全（保健休養、癒やし・やすらぎ）〕

毎年5月になると、地域住民がハウスに集まり、周辺の農林高校や福祉施設から譲渡されたペゴニアやマリーゴールドなど約 3,000 株の花の苗をセルトレイからポットに移植し、苗の生産・管理を行っている。8月頃になると、育てたポット苗が県道沿いの花壇に定植され、集落内の日常に花が添えられている。作業に当たっては、幅広い地域住民が無理せず参加できるように声かけを行い、継続的に活動できるような気配りが行われている。

〔地域社会の振興、伝統文化の継承〕

済井出地区を始めとした屋我地島においては、毎年6月頃になると集落の住民が集まり、五穀豊穡等を祈念して「畦払い」と呼ばれる伝統行事が開催されている。これは、農作物についての害虫を捕獲し、バショウの葉で作った舟の上に乗せ沖に流す伝統行事である。害虫を沖に流した後、沖縄角力（おきなわすもう）などの老若男女問わず参加する賑やかなイベントが夜まで続く。単に今住んでいる地域住民の結束を促すばかりではなく、学業や仕事で島を離れざるを得なかった地域住民が帰省するきっかけにもなり、島で生きてきた人々の心のより所になっている。

〔土壌侵食防止〕

農道周辺の清掃や、農道への砂利入れなどを行っている。また、数年に一度は重機を用いて大規模な用排水路の泥上げを行い、用排水機能の維持に努めている。



大切に育てた苗を
花壇に定植



農道沿いの除草活動



「畦払い」で五穀豊穡を
祈念する地域住民



「畦払い」の後、
夜まで行われる沖縄角力